

ひしのみだより

平成30年6月1日発行

発行責任者 千住由一朗

夏日のような高い気温が続いていますが、子どもたちは元気に園庭を走り回り、汗びっしょりで遊ぶ様子が見られます。しかし、園庭の植物たちは早く雨が降らないかと待っています。6月は水無月（みなづき）、梅雨の季節がやってきます。雨が多く、すっきりしない日が続きます。また、梅雨期は、カビなどの細菌が繁殖しやすい時期です。衛生面には特に注意をして、体調を崩さないよう健康管理に努めてください。



園児送迎の際の安全について！

駐車場は子どもたちだけでは危険がいっぱいです。事故や事件に巻き込まれる可能性があります。事故や事件が発生する前に、子どもを取り巻く大人みんなで注意しましょう。そこで、下記について再度ご確認をお願いいたします。

- (1) お送りの際は保育室の前までお連れいただき、必ず担当者に託してください。
- (2) 園としては、必ずお迎えの方に園児をお渡ししますので、お子様の手を取るなど確実に車まで誘導ください。(一人で自由に行かせないでください)
- (3) バス門横の出入りフェンスの鍵(上下2箇所)は必ず閉めてください。

以上ご協力をよろしくお願いいたします。

※ 一時的に園庭を駐車場に活用していますが、午前中は9時までとなっております。外遊びの時間確保のため、ご協力をよろしくお願いいたします。



1年生教育実習スタート！

6月18日(月)から22日(金)まで、佐賀女子短期大学の「こども未来学科」で幼稚園の先生を目指している「こども教育コース」の1年生5名の学生が教育実習を行います。実習生は、子どもたちと直接ふれあって、喜びや苦しみを味わいながら多くのことを学びます。また、子どもたちは、実習生と出会い、ふれ合い、楽しい生活になると思います。

実習期間中は、担任と実習生が十分な話し合いを持ち、子どもたちの指導に当たるようにしています。



幼児期が終わるまでに育ってほしい姿！（新教育・保育要領）

未来を生きる子供たちには、社会の急激な変化に対応できる資質・能力を育む必要があります。卒園時、資質・能力が育まれている子供の具体的な姿をイメージできるように、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」が新しく出されました。

その姿とは、「健康な心と体」「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」自然との関わり・生命尊重」「数量や図形、標識や文字などへの関心・態度」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」の10の姿として整理されています。次号より、具体的な10の姿を連載していきます。